

各位

上場会社名 株式会社 メガチップス
 代表者 代表取締役社長 高田 明
 (コード番号 6875)
 問合せ先責任者 専務取締役執行役員管理統括部長 藤井 理之
 (TEL 06-6399-2884)

業績予想の修正並びに繰延税金資産の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2013年5月8日に公表いたしました2014年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値及び通期連結業績予想値を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2014年3月期第1四半期(2013年4月1日～2013年6月30日)に発生した、連結子会社との合併に伴う繰延税金資産の計上につきまして、あわせてお知らせいたします。

記

● 第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正について

2014年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2013年4月1日～2013年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------------|--------|-------|-------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 30,000 | 1,100 | 1,100 | 2,900 | 124.20 |
| 今回修正予想(B) | 31,500 | 2,000 | 2,000 | 3,600 | 154.18 |
| 増減額(B-A) | 1,500 | 900 | 900 | 700 | |
| 増減率(%) | 5.0 | 81.8 | 81.8 | 24.1 | |
| (ご参考)2013年3月期第2四半期実績 | 24,718 | 2,371 | 2,338 | 2,774 | 115.98 |

2014年3月期通期連結業績予想数値の修正(2013年4月1日～2014年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------|--------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 63,000 | 4,000 | 4,000 | 4,800 | 205.58 |
| 今回修正予想(B) | 63,000 | 4,200 | 4,200 | 4,900 | 209.86 |
| 増減額(B-A) | — | 200 | 200 | 100 | |
| 増減率(%) | — | 5.0 | 5.0 | 2.1 | |
| (ご参考)2013年3月期実績 | 53,623 | 3,962 | 4,120 | 4,044 | 170.23 |

業績予想修正の理由

2014年3月期上半期につきましては、ゲームソフトウェア格納用LSI、液晶パネル向けLSI及び事務機器向けLSIの需要が、当初予想より増加する見込みとなりました。

2014年3月期下半期につきましては、新製品の立ち上げ時期が当初見込みより遅れる見通しとなったこと、一部製品で上半期に需要の取り込みが見られること、また、ASIC受注の増加傾向により開発リソースを増強する見通しとなりました。

以上により、2014年3月期上半期及び2014年3月期通期の業績予想数値を上記のとおり修正いたします。

なお、下記に記載のとおり、当期純利益には繰延税金資産の計上による税額調整(益)が含まれております。

繰延税金資産計上の理由

当社は、2013年4月1日付の吸収合併により、川崎マイクロエレクトロニクス株式会社(以下、同社)より承継した税務上の繰越欠損金等の一時差異の回収可能性を検討した結果、回収可能性の認められるものについて繰延税金資産を計上することといたしました。

当該事象により、2014年3月期第1四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書におきまして、法人税等調整額(△は益)△2,450百万円を「法人税等」に含めて計上しております。

なお、本件による2014年3月期の業績への影響につきましては、2013年5月8日付の「平成25年3月期 決算短信[日本基準](連結)」にて公表の「平成26年3月期の連結業績予想」において、反映済みであります。

※ 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

以上